

令和4年2月7日

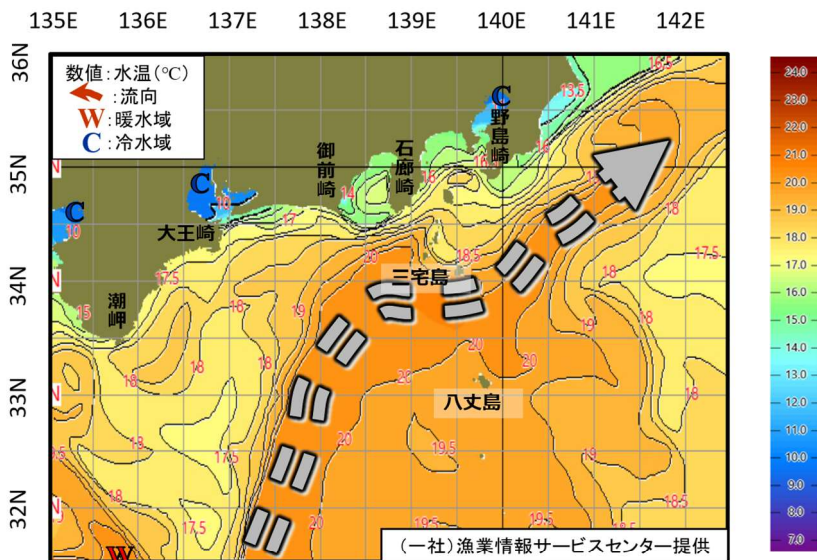
## < 黒潮流路 >

2月7日の人工衛星画像によると、黒潮は都井岬沖を東に進み、潮岬沖から、熊野灘沖の北緯28度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上して石廊崎に接近し、その後房総半島沖へ流れています。

## < 渥美外海の状況 >

現在、石廊崎沖の黒潮の屈曲部から、暖水が遠州灘～熊野灘沖に波及しているため、高温傾向が継続しています。また、伊勢湾の湾口付近に顕著な潮境が形成されています。現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われませんが、FRA-ROMSの海況予測では、足摺岬沖の冷水渦が東に移動し、潮岬沖の黒潮内側域に繋がることで、流路がやや変動し、石廊崎沖の黒潮の屈曲部が徐々に西に移動する予測です。

## 2月7日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



## 2月7日の水温分布と黒潮流路（広域図）

